



接続上のご注意

本機と他の製品では同じ動きのコードでも色が異なる場合があります。本機と他の製品とを接続される場合、それぞれの製品に付属の取付説明書をよくお読みになり、同じ動きのコードどうしを接続してください。

赤リード線（アクセサリ電源）は、常にバッテリーから電源が供給される電源回路には、接続しないでください。接続すると車のバッテリーが消耗してしまいます。

アクセサリ電源延長コードは、アクセサリ電源専用です。他の電源コードの延長には、使用しないでください。

若草色のリード線（パーキングブレーキスイッチ）は、必ずパーキングブレーキスイッチの電源側に接続してください。接続しないとテレビやビデオなどの映像を見ることができなくなります。

本機のアンプにはBPTLという回路を使用しています。スピーカーのリード線を直接アースしたり、複数のスピーカーの（-）リード線を、共通にして接続しないでください。

黒リード線（アース）は、パワーアンプなどの消費電流が大きい製品のアースとは別々に取り付けてください。まとめて取り付けると、ネジが緩んだり外れたりしたとき、製品の発煙・故障の原因となる恐れがあります。

本機と組み合わせるスピーカーには、最大入力45 W以上のハイパワー用で、インピーダンスが4 から8 のものを使用してください。規格以外のスピーカーのご使用は、スピーカーの発火・発煙・破損の原因となります。

ガラスアンテナ車は、アンテナブースターの電源を、必ず本機の青リード線（オートアンテナ）に接続してください。接続を忘れるとラジオが受信できません。

アンテナブースターの電源の位置は、車種によって異なります。（ラジオがONにならないと、ブースターがONにならない車もあります。）詳しくは、取り付け技術のある販売店にご相談ください。

接続のポイント

IP-BUS、光デジタルラインの接続について  
IP-BUSおよび光デジタルラインの端子とケーブルは、同じ色どうしを接続してください。（コネクターの接続部分が色分けされています。）

ノイズ防止のために

アンテナコードは、20ピンRGBケーブル、20ピンケーブル、AVケーブル、IP-BUSケーブル、スピーカーコード、および電源リード線と束ねたり、重ねたり、交差させたりしないでください。

ナビゲーションと組み合わせる場合、TVアンテナおよびアンテナコードは、ナビゲーションアンテナやナビゲーション本体からできるだけ離して配置してください。

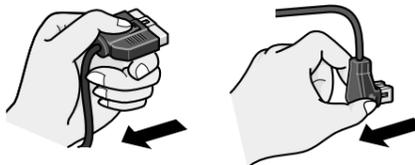
電源配線キットを別売しています

システム全体の消費電流が大きくなる場合は、バッテリーから直接電源をとることをおすすめします。当社では、電源配線キット「RD-221」を別売していますので、販売店にご相談ください。

コネクターの着脱のしかた

コネクタは、“カチッ”と音がするまで押し込んで、確実に接続してください。

コネクタを外すときは、図のようにコネクタ部分を持って引っ張ってください。コードを引っ張るとコードが抜けてしまうことがあります。



光デジタルラインについて

光デジタルラインは鋭く曲げないでください。やむを得ず小さく曲げるときは、半径25 mm以上にしてください。鋭く曲げると信号の伝達が妨げられ音質に影響を与えます。

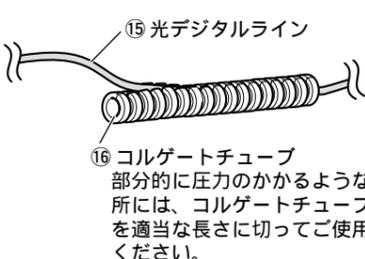
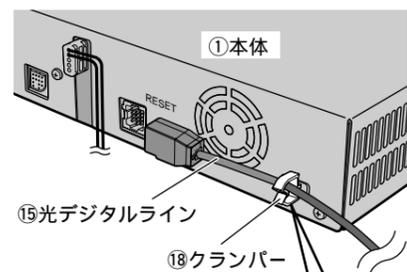
光デジタルラインは、上に荷物や人が乗らない場所、ドアなどではさまない場所に配置してください。

光デジタルラインは、ヒーターの吹き出し口など高温になる場所を避けて配置してください。

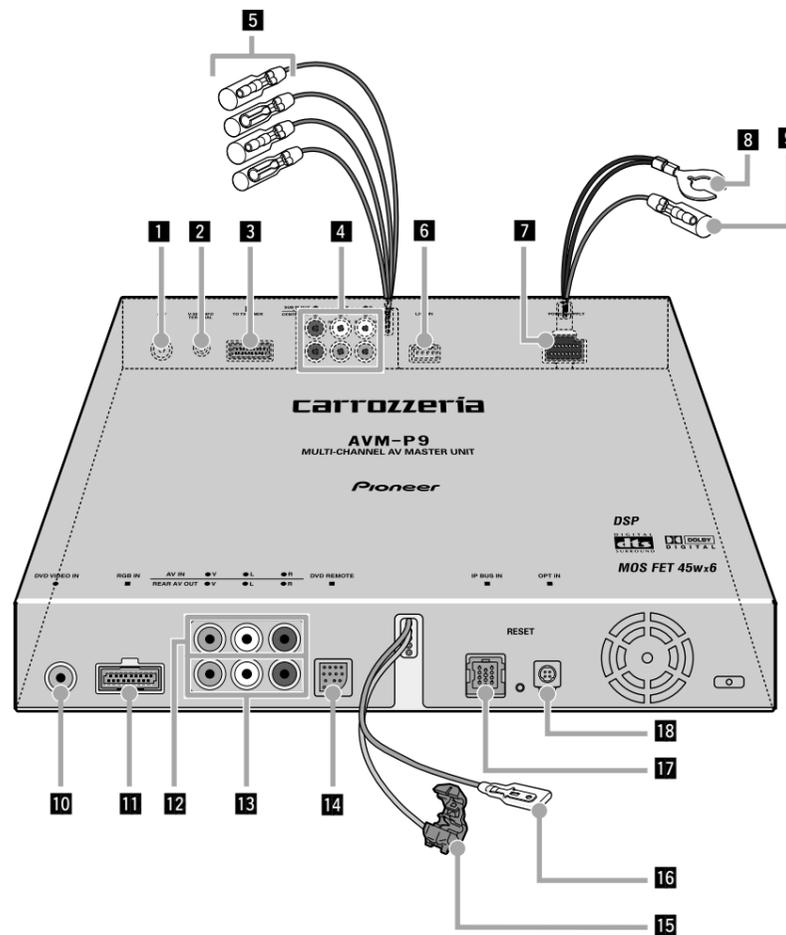
余った光デジタルラインは直径200 mm以上のループにして、圧力がかからないようにしてください。

クランプの取り付け

光デジタルラインを接続する場合、クランプを使用することにより光デジタルラインが鋭く曲がらないように設置することができます。



本体



1 アンテナ接続端子

付属のアンテナ延長ケーブルを使用して、カーアンテナプラグと接続します。

2 V.SEL端子

V.SEL端子のあるモニターと組み合わせるときに使用します。

3 20ピンRGB出力（黒）

モニターやTVチューナーのRGB入力に接続します。

4 RCAフロントオーディオ出力（白・赤）

RCAリアオーディオ出力（白・赤）  
RCAサブウーファー出力（黒）  
RCAセンター出力（黒）

RCA入力のある外部アンプと組み合わせるときに使用します。

5 サブウーファー出力/センター出力

コードに付属のラベルを確認し、サブウーファーと、センタースピーカーをそれぞれ接続します。

6 スピーカー入力端子（RCA）

付属のRCA入力コードを使用して、RCA出力付きカーステレオ（純正カーステレオ）と接続します。

7 電源

付属の電源コードを使用して、車のバッテリーから電源をもらいます。

8 アース（黒）

車のボディの金属部に接続します。

9 アクセサリ電源（赤）

車のエンジンスイッチをACCの位置にしたときに電源が供給される電源回路に接続します。

10 DVDビデオ入力（黄）

マルチDVDプレーヤーのフロント映像出力（黄）と接続します。

11 20ピンRGB入力（黄）

パイオニア製のDVDナビゲーションシステム（例：「AVIC-D9100」）を組み合わせるときに使用します。

12 RCAビデオ入力（黄）

RCAオーディオ入力（白・赤）  
8 mmビデオやポータブルビデオなどを接続することができます。また、DVD以外のナビゲーションシステムと組み合わせるときは、ここに接続します。

13 RCAリアモニタービデオ出力（黄）

RCAリアモニターオーディオ出力（白・赤）  
リアモニター（後部座席専用モニター）用の信号が出力されます。後部座席に設置するモニターの入力端子と接続してください。それ以外は何も接続しないでください。

この端子に接続したモニターは、運転者が走行中に映像を見ることができない位置には、絶対に設置しないでください。

14 DVDリモート端子（黒）

DVDリモート端子のあるDVDと組み合わせるときに使用します。

15 パーキングブレーキ入力

車が停車していることを確認するために使用します。

16 ナビゲーション用ミュート端子

パイオニア製のミュート端子付きのナビゲーションと組み合わせるときに使用します。

17 IP-BUS入力（青）

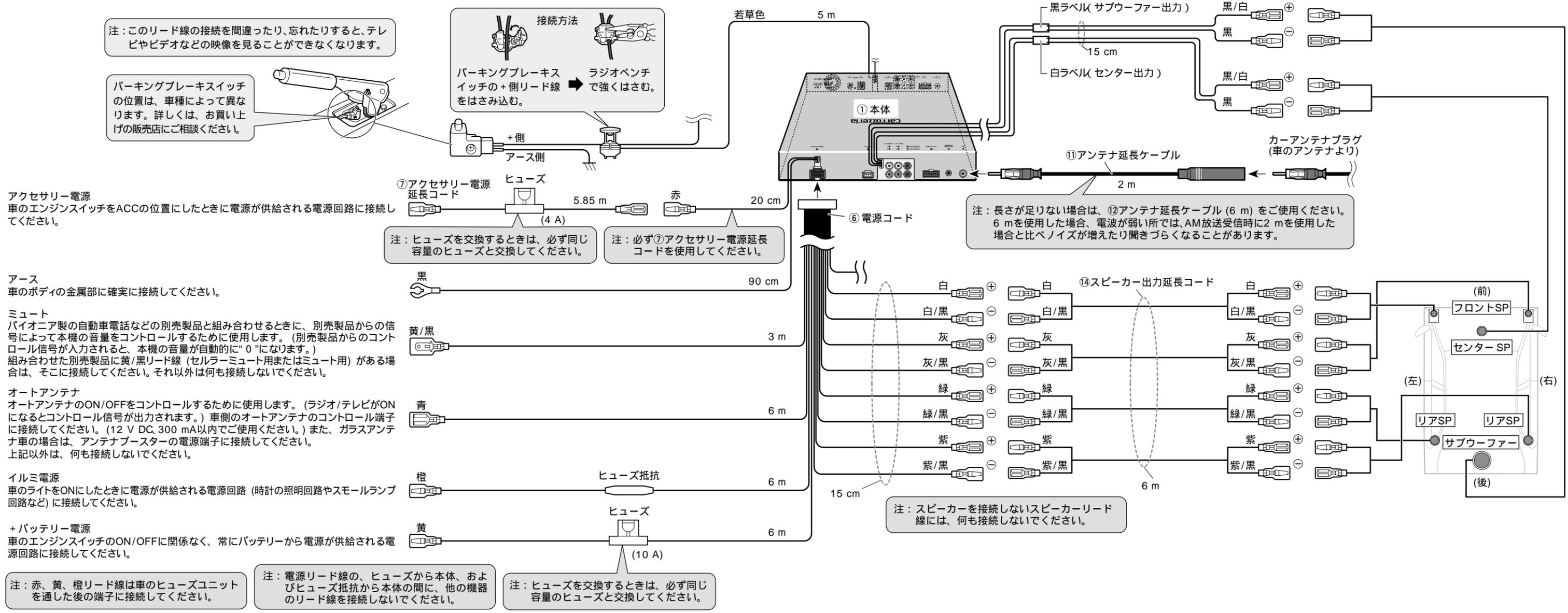
IP-BUS出力のある製品を接続します。

18 光デジタル入力（青）

光デジタル出力のある製品を接続します。

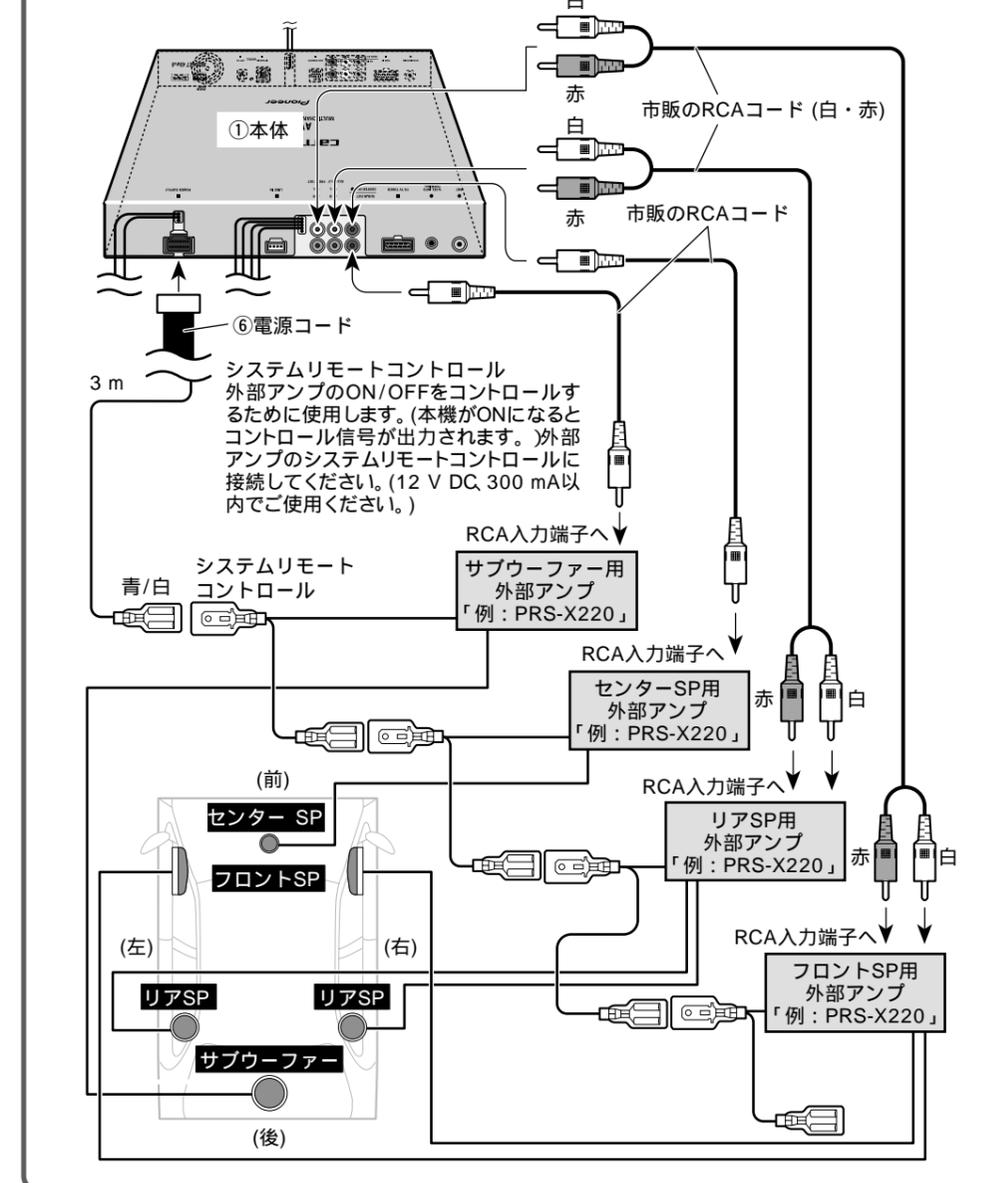
—詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください—

電源/アンテナの接続



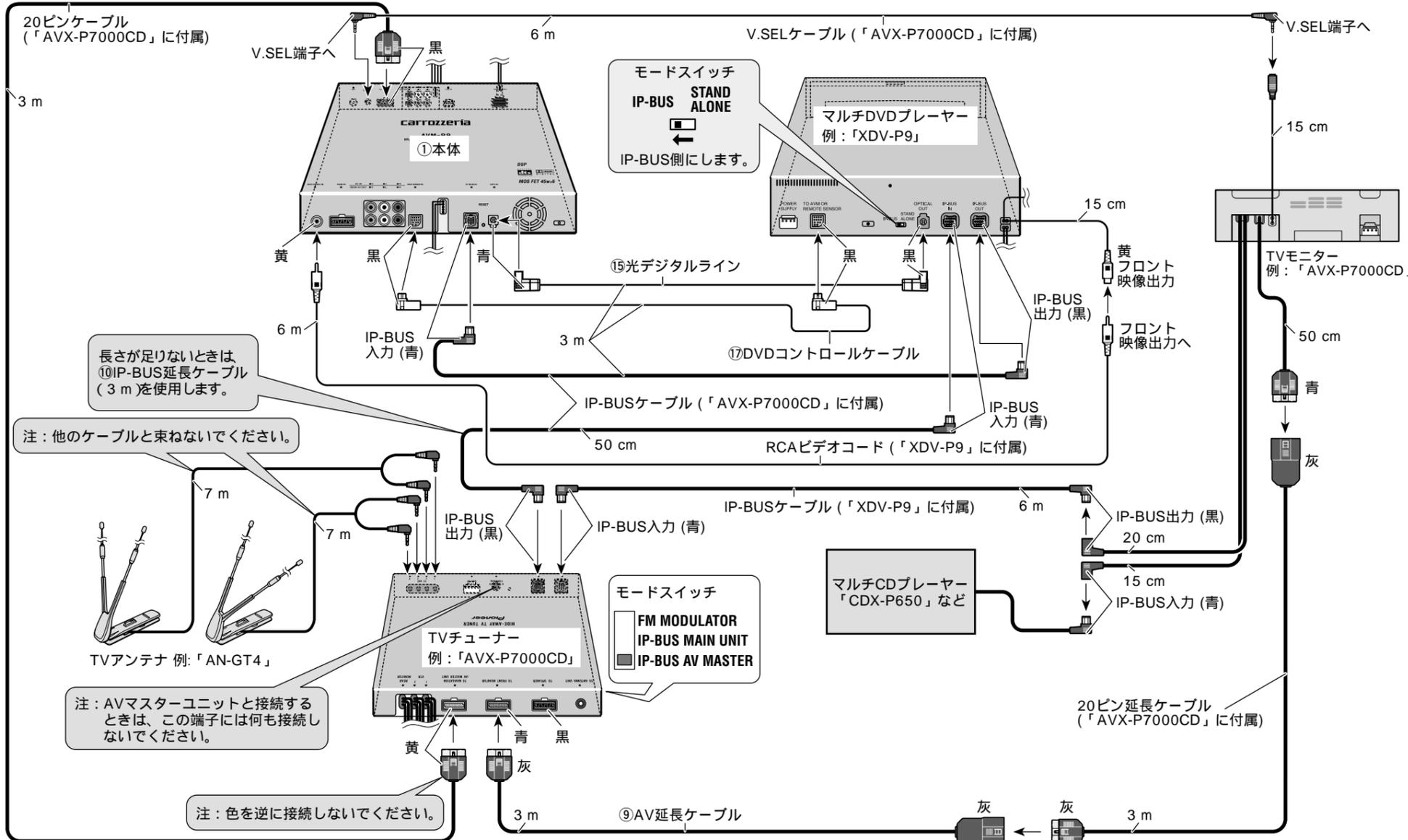
—詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください—

外部アンプの接続



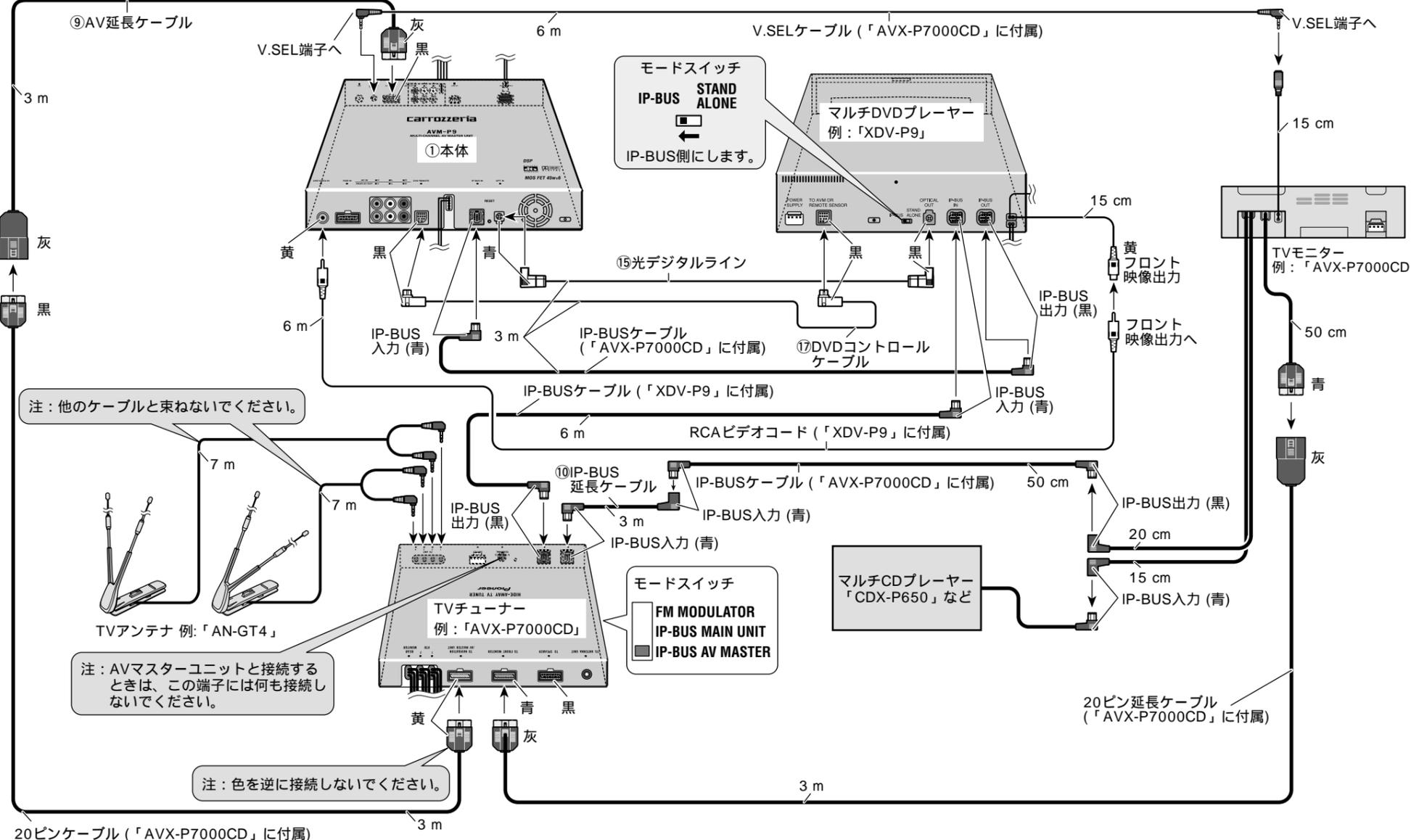
—詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください—

本機とTVチューナーとマルチDVDプレーヤーをトランクに取り付ける場合



—詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください—

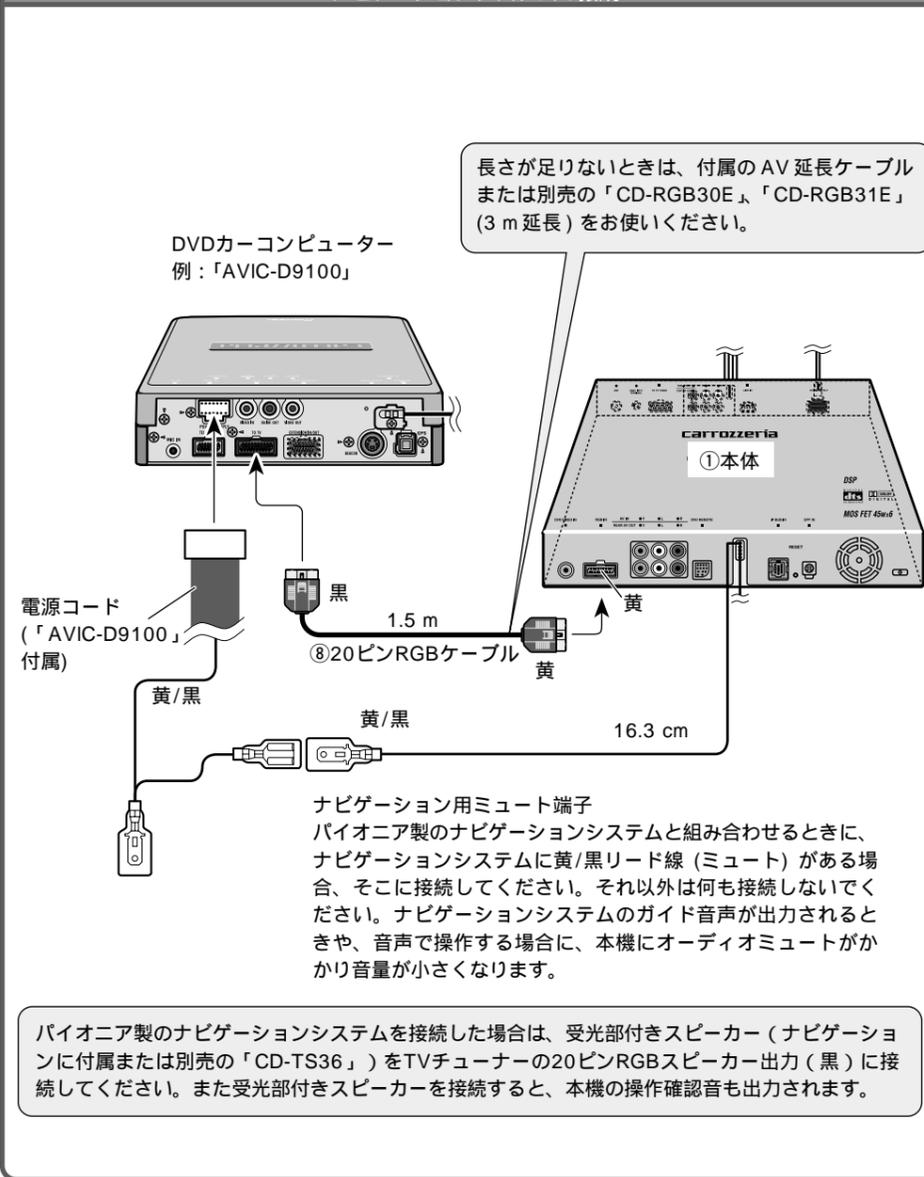
TVチューナーをシート下に取り付ける場合



接続 7 ナビゲーションシステムの接続

——詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください——

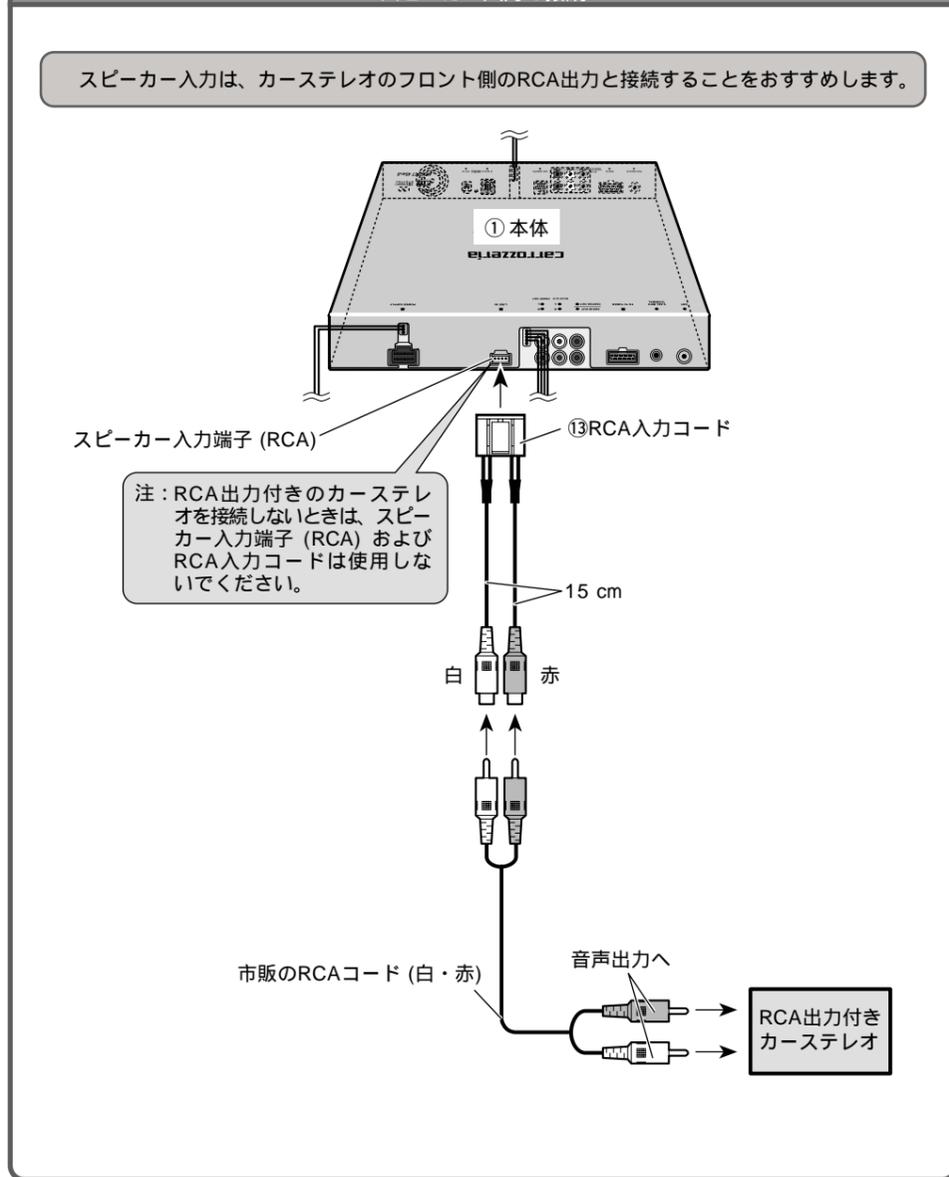
ナビゲーションシステムの接続



接続 8 スピーカー入力の接続

——詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください——

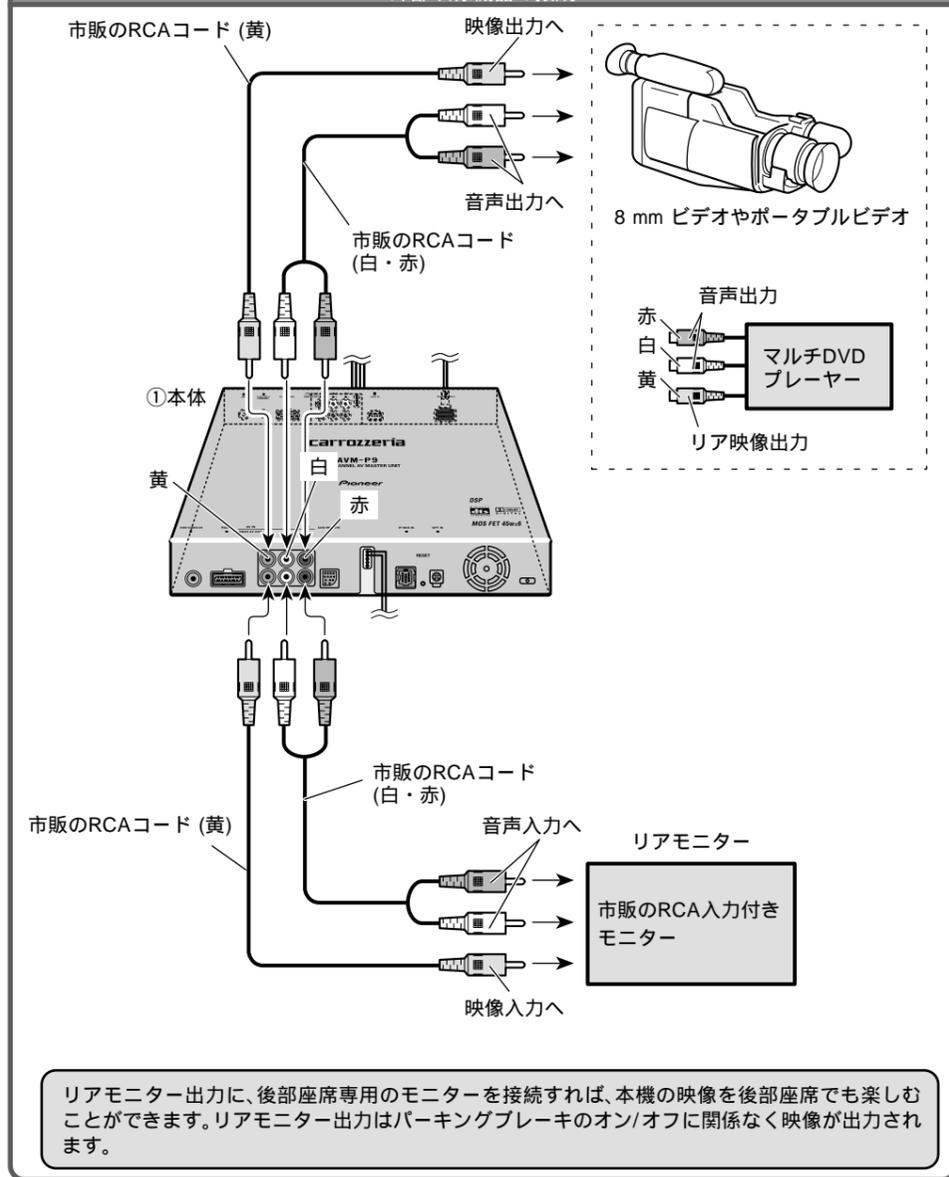
スピーカー入力の接続



接続 9 外部映像機器 (ビデオやリアモニター) の接続

——詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください——

外部映像機器の接続



マルチDVDプレーヤーの映像をリアモニターで見る場合

マルチDVDプレーヤーの映像をリアモニターで見るには、「本機を通してリアモニターに接続する方法」と「マルチDVDを直接リアモニターに接続方法」の2通りがあります。

本機を通してリアモニターに接続した場合、マルチDVDプレーヤーの映像だけでなく、本機に接続したテレビの映像もリアモニターで楽しむことができます。

本機の電源を切ると、リアモニターの映像も消えます。本機の電源は、再生中のCDやMDを取り出したりすると切れます。本機の電源に影響されずにDVDの映像をご覧になりたい場合は、マルチDVDプレーヤーとリアモニターを直接接続することをおすすめします。（マルチDVDプレーヤーの取付説明書参照）

注：エンジンスイッチにACCポジションが付いてない車の場合、マルチDVDプレーヤーの電源をOFFにしないとバッテリーが消耗し続けるため、バッテリー上がりの原因となるおそれがあります。

リアモニター接続のポイント

別売のAVセクター「CD-VS33」を使用することで、ビデオやマルチDVD、テレビ、ゲームなどリアモニターでより多くの映像を楽しむことができます。

警告

リアモニター出力に接続したモニターを使用する場合

本機のリアモニター出力は、後部座席でテレビやビデオを見るモニターを接続するためのものです。リアモニター出力に接続したモニターは、運転者が走行中に映像を見ることができない位置には、絶対に設置しないでください。

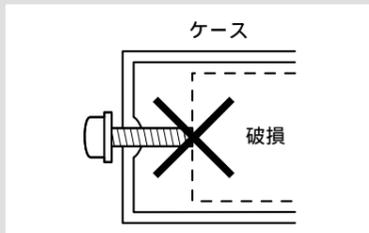


禁止

## 取付 1 取り付けの前に知ってほしいこと

### 取り付け上のご注意

必ず本機及び取付キットに付属の部品を指定通りに使用してください。指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、しっかりと固定できずに外れたりして危険です。



助手席にエアバックなどの安全装置装着車の場合は、安全装置の作動に支障のないようご注意ください。

### 取り付けのポイント

#### 取り付け、固定する前に

まず仮接続を行い、本機が正常に動作することを確認してから、取り付けを行ってください。正常に動作しない場合は、接続に間違いがないか、もう一度チェックしてください。

#### アンプの放熱を妨げないために

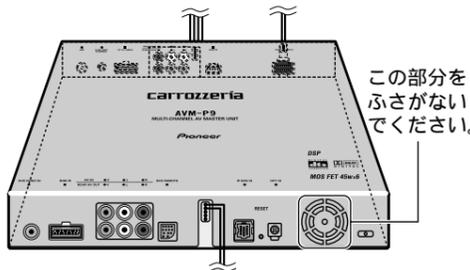
本機は冷却効果を高めるため冷却ファンを使用しています。このため、冷却ファンの周辺は十分なスペースをあけて取り付けてください。また、ヒーターの吹き出し口など高温になる場所への取り付けや、カーマットなどで本機全体を覆うなどの取り付けかたは絶対に行わないでください。

#### ノイズ防止のために

アンテナコードは、20ピンRGBケーブル、20ピンケーブル、AVケーブル、IP-BUSケーブル、スピーカーコード、および電源リード線と束ねたり、重ねたり、交差させたりしないでください。

ナビゲーションと組み合わせる場合、TVアンテナおよびアンテナコードは、ナビゲーションアンテナおよびナビゲーション本体からできるだけ離して配置してください。

TVアンテナの取り付けのしかたによっては、AM放送に雑音が入る場合があります。TVアンテナは、TVアンテナの説明書に従って正しく取り付けてください。

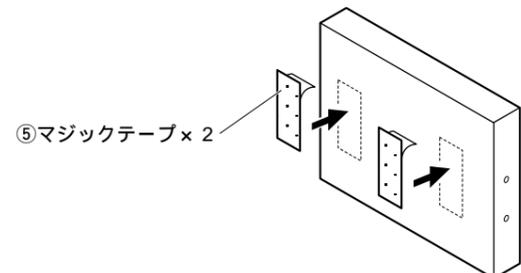


## 取付 2 本体を取り付ける

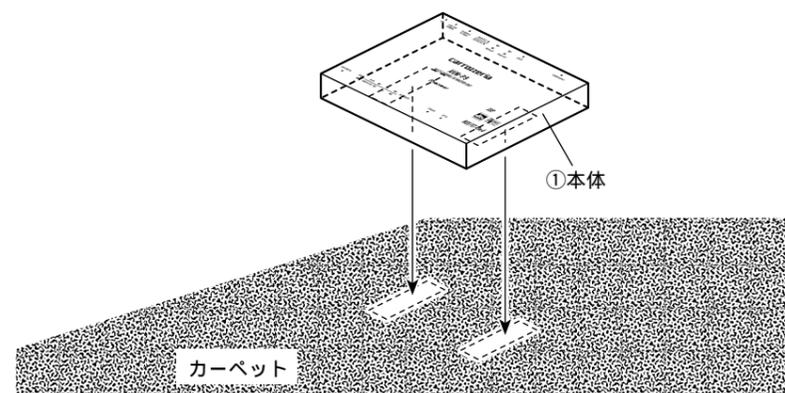
### マジックテープを使用して取り付ける

#### 1 付属のマジックテープを本機の底面に貼り付ける

マジックテープを張り付ける前に、汚れをよくふきとってください。



#### 2 カーマットに直接張り付ける



### 取り付け上のご注意

次のような場所には絶対に取り付けしないでください。

- \* ダッシュボードやリアトレイの上のように、直射日光のあたる場所。
- \* ヒーターの吹き出し口の近く。

ドア近くの雨水がかりやすい場所には取り付けしないでください。フロントシートの下に取り付けるときは、シートのスライドに支障がないように取り付けてください。

## 確認 1 動作を確認する

接続・取り付けが終わったら、次の操作を行って、本機が正常に動作することを確認してください。

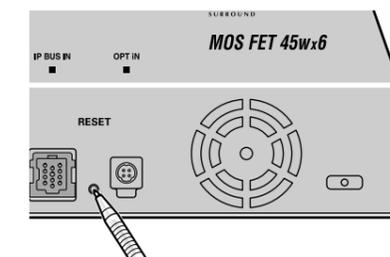
### 1 接続・取り付けをもう一度確認する

**確認**  
接続・取り付けに誤りがないか、各コネクタは確実に接続されているか、もう一度、目で見て確認してください。

### 3 車のエンジンをかける



### 2 ボールペンの先などでリセットボタンを押す

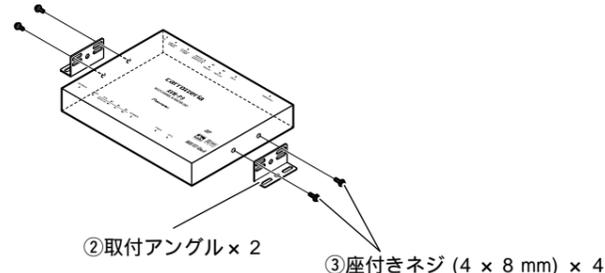


### 4 本機の動作を確認する (E3 取扱説明書)

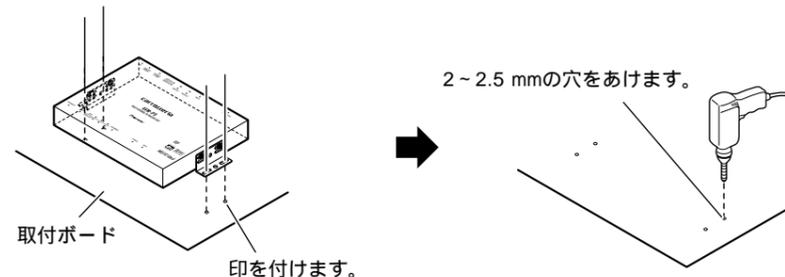
### 取付アングルを使用して取り付ける

#### 1 取付アングルを本機に取り付ける

本機を車に取り付けるために、取付アングルを本機に取り付けます。



#### 2 取り付ける位置を決め、穴を開ける



#### 3 タッピングネジで、しっかり固定する

